

大規模事業者の減量化・資源化取組の紹介

平成27年度の減量化等計画書提出対象の大規模事業者の中から減量化等の取組状況についての事例を紹介します。

日本ラインツ(株)様の取組

社名：日本ラインツ(株) <http://www.nrz.jp/index.html>
 住所：大和市深見西1-5-2
 敷地面積：10,950㎡
 業種：輸送用機械器具製造業
 延床面積：9,320㎡
 社員数：152人

1 生ごみ処理機について

食堂等から出る厨芥類に対して独自に生ごみ処理機を導入し、減量化に努めています。2014年9月に導入し、厨芥類の回収量および委託費の大幅な削減に繋がりました。

■導入前後比較（年間）

	回収量	委託回収回数
【導入前】2013年1月～12月	1,587kg 月平均 132.3kg	147回 月平均 12.3回
【導入後】2015年1月～12月	629kg 月平均 52.4kg	49回 月平均 4.1回
減少率	-60%	-67%

※生ごみ処理機では処理できない骨、殻、種等は現在も回収。

■設置状況等

生ごみ処理機	中身	分解促進剤コア
		
<ul style="list-style-type: none"> ・屋外に設置 ・同機種では最小型 ・投入口は南京錠にて施錠管理 ・全自動（攪拌と温度管理） ・水と炭酸ガスへ分解し消滅処理を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニオイもほとんどない ・骨や殻、種等の禁忌品は入れない ・茎や皮等で硬く繊維質なものは細かくする ・減少してきたら分解促進剤コアを追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・主にもみ殻（微生物等が付着） ・生ごみ処理機導入時に10kg購入したものを現在も使用 ・低ランニングコスト

2 資源の保管場所について

敷地内に分類品目ごとに設置。

各保管場所には分類の例を表示し、正しい保管場所に集積できるようにしています。



上記保管場所以外にも金属等の有価物には細かく金属名を表記し純度向上に努めています。